

AED(自動体外式除細動器)の配備および導入研修の実施について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)グループはこの度、本社および国内7製油所に合計25台の※AED(Automated External Defibrillator:自動体外式除細動器)を配備いたしましたので、お知らせします。

また、併せて配備事業所の従業員を対象にAED導入研修を実施し、事務所内での突然の心停止でも早期に対応できるよう、訓練を行いました。

記

1. 当社グループへ導入したAED



AED(自動体外式除細動器)

2. AED導入研修について

- (1)実施日:2006年8月22日~24日
- (2)場所:新日本石油本館ビル内 会議室
- (3)対象者:新日本石油本館内 勤務者

以上

※ AED(自動体外式除細動器)とは

日本における病院外での心停止の発生件数は、年間2万~3万件と推測されます。この数字は、交通事故による死者数の3~4倍にのぼります。誰かが突然倒れてしまったとき、救急車が到着するまでの数分間、生死を左右するのは早期の救命措置です。心臓突然死の主な原因に、心筋の動きがバラバラになり、心臓のポンプ機能が失われる心室細動があります。心室細動発生から1分ごとに救命率が7~10%下がるといわれ、いかに早く救命処置をするかが生死を分けることになります。強い電気ショックを与えて心筋のけいれんを除去する電氣的除細動は、最も効果的な方法だといわれており、この電氣的除細動を自動的に行うのがAEDです。